

#### 【4】 まとめ

[1] 民主主義国家における投票は、誰がどのように投票するか自由が保証され、誰がどのような投票行動をしたかの秘密を守ることが侵されてはならない。しかしながら律蔵に定められた投票は、行籌人が投票者にどちらを選択するか意思を表示する籌を渡すのであるから、誰がどのような投票行動を取るかは行籌人にはわかる仕組みであって、投票行動の秘密は保護されない。またさまざまな形で投票に圧力が加えられるのであるから、投票の自由も制限されているといえることができる。

しかも民主主義における投票は、どちらを集団の意思とするか、どちらが正しいかを全員一致で決定できないときに、多数によって決するために行われるが、律蔵における多人語ヴィナヤは投票する前から、サンガの意思やどちらが正しいかは決定していて、その正しい方が多数を占めるように行われる。いわば選挙管理委員会が正しい方が多数を占めるようにさまざまな工作を行うのである。

また民主主義の投票はそれが公正に行われる限り、その結果は犯すべからざるものでなければならないが、律蔵に定められた投票はいわば選挙管理委員会が誘導しようとしている方向とは逆の結果になった場合には無効とされる。

以上のように律蔵に規定された多数決すなわち多人語ヴィナヤは決して民主的に、そして公正に行われるものではない。そもそも民主主義では主権は国民にあり、法を定立するのも、政治を方向づけるのも、その根本に国民の意思がなければならないとされる<sup>(1)</sup>。サンガの中でこの国民に相当するものは比丘あるいは比丘尼たちであるが、実は比丘や比丘尼たちは法を定立する権利も、サンガの運営を方向づける権利も付与されていない。法の制定や改廃の権利は積尊にしかなかったからであり、サンガの運営の責任はサンガのリーダーの手に委ねられていたからである。したがって律蔵の多人語ヴィナヤを民主主義的なものと理解する余地は全くないのである。

(1) 尾高朝雄・久留都茂子補訂『法学概論（第3版）』有斐閣 平成13年3月 p.106~107

[2] それでは律蔵の投票は何のために行われるのかといえば、それはサンガの紛争、特に教理教学上の論争を調停するために行われる。教理教学上の論争というのは、「これは法である、これは非法である、これは律である、これは非律である。これは如來の所説・所言である。これは如來の所説・所言ではない、……」というような主題をめぐっての争いのことである。

サンガのメンバーに主権がない限り、サンガ運営の責任はサンガのリーダーにあり、したがってサンガに紛争が生じるのはサンガのリーダーの責任であるから、もしサンガにこのような争いが生じたときには、このサンガのリーダーがこれを鎮めるべき責任を有する。そのためにサンガのリーダーはさまざまな努力をするのであるが、しかしその努力が実を結ばないで、紛争がなおも続くようなときに、最終的な手段として多数決すなわち多人語ヴィナヤが用いられるのである。

選挙管理委員会に相当する行籌人はこのサンガのリーダーの意を受けて、サンガのリーダーが意図するものを「法」として選挙を行うのである。したがってこの選挙を行うにあたって

のよりどころとする「法」と、今論争の主題となっている教理教学上の「法」とは、同じ‘dhamma’という言葉であってもその内容は異なる。

[3] それではサンガのリーダーが投票を行うにあたってのよりどころとすべき「法」とは何であったかといえば、それは「サンガ和合」である。サンガのリーダーはサンガ内の紛争を解決して、和合を実現するために投票を行うのであるから、それは当然であったといえることができるが、しかしその根底には「経」や「律」のさまざまな教えよりも優先すべきは「サンガ和合」であるという釈尊の教えがあったからである。要するに律蔵においては、何が正であり、何が邪であるか、何が罪であり、何が罪でないかを追求する以前に、破僧を避け、サンガの和合を図るという価値が優先されていたといえることができる。これをもう少し穏やかに言えば、多少の正義は犠牲にしても、サンガ和合という秩序を優先するというのが律蔵であったといえることができるであろう。

多数決がこのような背景を有するものであることがわかれば、「如法説者」はサンガのリーダーの側に立つ者であり、「非法説者」はこのサンガのリーダーに反対し、対抗しようとする側に立つものであることを理解することは容易であろう。投票の際に「非法」まがいの行為がなされたのは、このような非法行為を「非法」とする以前の、もっと根底にある価値すなわち「サンガの和合」という価値が優先されたからである。サンガというのは和合しているがゆえにサンガなのであって、したがってサンガの運営理念にとっては、サンガを2つに割るような紛争や破僧こそ、何者にもかえ難い「非法」であったといえることができる。